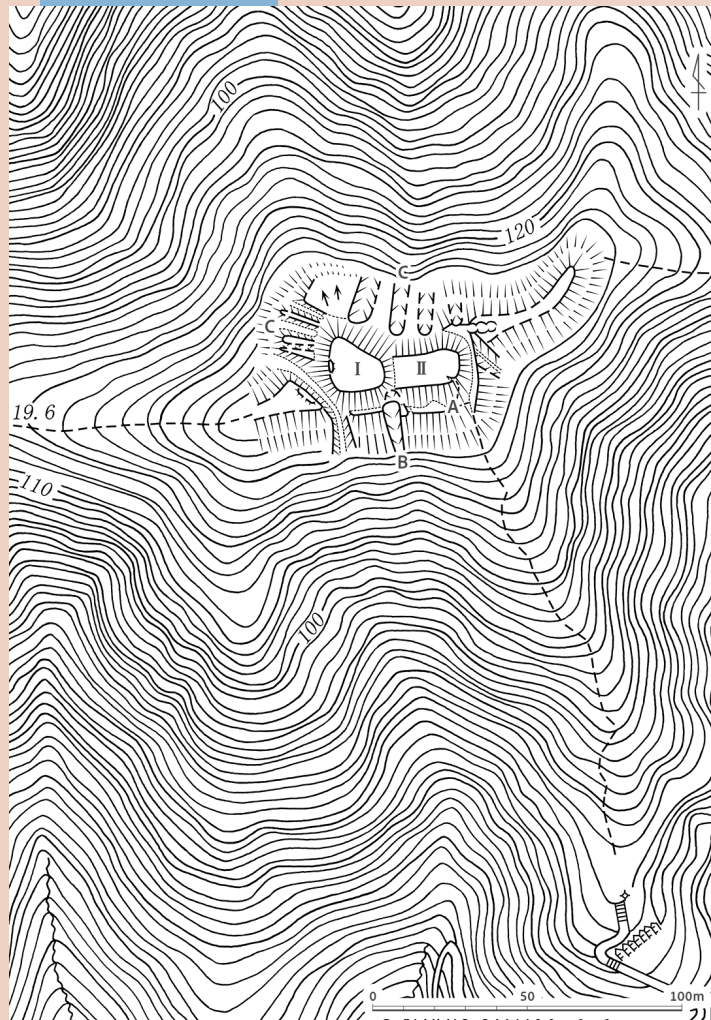


長島城 縄張り図



長島城跡概要図（作図：伊藤徳也）

I,II・曲輪（くるわ）

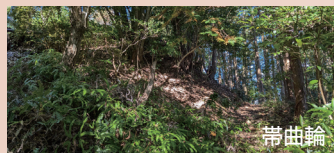
尾根や斜面を造成してつくった平坦地。
郭（くるわ）とも表記します。



曲輪II

A・帯曲輪（おびくるわ）

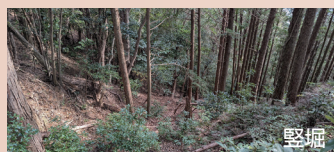
本丸などの主要な曲輪の周りの斜面に設けられた細長い曲輪。



帯曲輪

B・塹堀（たてぼり）

山腹の敵の自由な横移動を遮断するため斜面に対して縦方向に設けられた堀。



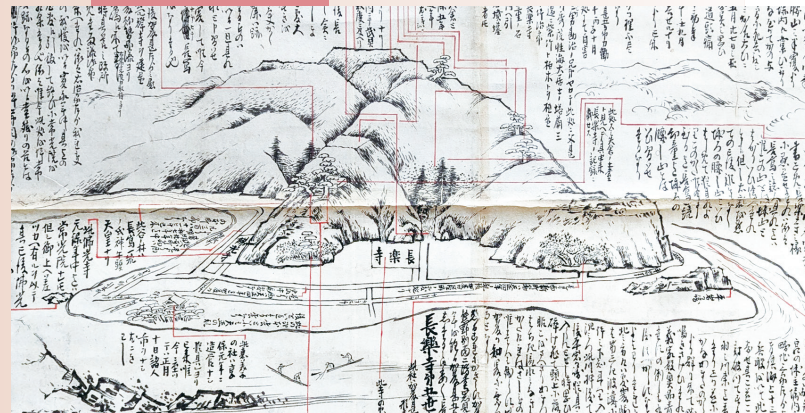
塹堀

C・連続塹堀（れんぞくたてぼり）

塹堀を連続して並べたもの、畝状塹堀（うねじょうたてぼり）ともいいます。

三重県内の山城にはあまり見られない連続塹堀、長島城は北側と西側に3本の塹堀があります。

長島城の歴史



長楽寺古絵図 紀北町指定有形文化財（長楽寺所蔵）

至徳元(1384)年、北畠顯泰(あきやす)家臣の加藤基左衛門(じんざえもん)が築城しました。長島城は、麓に赤羽川(あかばがわ)の水を引き込み海水の混じり渦巻く水をみなぎらせて東西に二十五間(45m)の頑丈な舟橋を配していました。敵がこの橋を渡ろうとすると西側の岸から切り離して敵の軍勢を漂わせてしまおうとするものでした。応永二(1395)年赤羽谷の奥村氏と戦い、基左衛門は敗れて自刃しました。天正に入り基左衛門の五代の子孫・基五郎が北畠信雄(織田信雄)の家臣として長島城主となります。天正四(1576)年10月27日、加藤基五郎が長島城に立て籠り、防衛施設を堅固にして攻め手を待ち構えていたところ、赤羽谷に居を構える北条氏の臣・奥村氏の加勢や新宮の城主・堀内氏の家来である畦地三郎左衛門(あぜちさぶろうざえもん)らが十三里(約52km)の海路を二木島から兵船に乗って赤羽川の東側まで攻め寄せてきました。赤羽川を渡って松本的大门(*注1)を打ち破った後、平岩と言う崎に進み、その先の大手門(*注2)に攻め入ろうとした時、大石や小石、大岩が砕けながら飛んできて兵士の頭上に落とされました。逆茂木(さかもぎ)(*注3)が視界を遮って見えず、砲火が炸裂して体がはじけられました。水は満々として流れが激しく(*注4)、足を上げて歩行できない状態に、さすがの強兵たちも大変苦しんで、誰も生存者は居なくなりました。加藤方の「知恵ある戦術」にまんまとのせられて、皆討ち取られてしまいました。この勝利の後、2000~3000人の堀内勢に囲まれながら籠城を続けましたが50日余りで長島城は落城しました。

長楽寺古絵図現代語訳から抜粋

注1：城下町の一番隅に置かれる門「城戸」

注2：大手門は旧三十三銀行前駐車場から長楽寺の間に在ったと思われます。大手門とは城の正面にある表門。

注3：枝や葉のついた木を程ほどに切り、残りの幹に縛り付けたバリア

注4：江戸時代の赤羽川は浦町の庚申堂の側が河口であったといえます。現在の川筋とは違い、表通りの外を平行に沿うように、南へ曲がっていました。(外堀か)

発行 2025年3月
三重県（南部地域振興企画課）

お問い合わせ 紀北町商工観光課
〒519-3204 三重県北牟婁郡紀北町東長島 769-1
電話：0597-46-3115
魚まちガイド：古道魚まち歩観会
受付：一般社団法人 紀北町観光協会
電話：0597-46-3555

難攻不落の長島城

南北朝時代から戦国時代にかけて長島のまちを見守った長島城。
山を削り櫓を建て海からの敵を見張りま
した。敵の侵入を防ぐ堀切や塹堀などい
くつもの防御機能を設けた山城でした。

しろのこし 長島城(城腰)

標高 143m

城腰(しろのこし)の由来

長島城の城山の腰あたりに容膝亭(ようしつてい)という茶室がありました。その容膝亭の焼け跡に長島城主・五代目加藤甚五郎を葬ったことから長楽寺の山号は城腰山(じょうようざん)となり、長島城のことを城腰と呼ぶようになりました。

おすすめ見学ルート

駐車場^{5分}→長島神社^{10分}→記念碑山^{5分}→愛宕さん^{10分}→曲輪(II) (曲輪(II)から曲輪(I)への移動は足元注意) 曲輪(I)^{10分}→五輪供養碑^{10分}→郵便局裏^{5分}→駐車場

所要時間: 約 1 時間

赤線はおすすめ見学ルート 黄色線も散策できます。

初代	加藤甚左衛門
二代	甚之丞
三代	甚左衛門
四代	甚右衛門
五代	甚五郎

戦国時代後期、北畠の臣・加藤家五代目甚五郎が自刃したと伝えられる墓。

容膝亭跡は現在道が無いため行けません。

ここから長島の町、熊野灘が一望できます。

郵便局裏の避難階段が登城口です。

記念碑山の公園から長島の町、熊野灘が一望できます。

長島城のかわいいジオラマがあります。長島城跡を散策する前にご覧下さい。

防災空地のため長時間のご利用はご遠慮ください。

長島城散策の注意

- ・道中険しい箇所があります。特に曲輪(II)から曲輪(I)はトレッキングシューズなど滑りにくい靴が必須です。
- ・野生動物や危険な虫(ハチ、マダニ)など事前対策と注意が必要です。
- ・タオル、飲み物を持参して下さい。
- ・火気厳禁、山火事に注意して下さい。

42

西小学校

長島神社

手水舎

佛光寺

多目的会館

トイレ

長楽寺

郵便局

長島港魚市場

魚まちのたまり場

駐車場
P

旧熊野街道

旧熊野街道

本丸跡

くるわ
曲輪(I)
くるわ
曲輪(II)

愛宕さんから急な階段が続きます。

愛宕さんの祠の左側を進みます。

長島神社の手水舎の右側が登城口です。

ようしつていあと
容膝亭跡

五輪供養塔

記念碑山

長島城のかわいいジオラマがあります。長島城跡を散策する前にご覧下さい。